

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	おおきな木真法院町		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ~ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ~ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者とその保護者に寄り添った支援	子ども達と気持ちに共感しながら支援をしています。 不適切な言動に対して否定から入るのではなく、その理由を聞いたり、こちらの考えを伝えたりすることで振り返っています。 また保護者には定期的な面談や助言を行ったり、ニーズに対して柔軟に対応したりする寄り添う支援を行っている。	こちらに対して意見や理由などをうまく伝えられない子どもの為に発表の場面や意見を言う場面、スタッフへのプレゼンなど多くの機会を作って練習できるようにしている。
2	様々な種類のプログラムを行っている	スタッフ各位が分担してプログラムを行い、子ども達は色々な取り組みを体験している。 また、新たな行事を積極的に作って、より利用者に合った療育を行えるように活動している。	スタッフ側が計画・実施するだけではなく、子ども達から要望を聞き、場合によっては計画や司会や運営を行ってもらうことで、主体性や計画性など様々な要素の発達を促していけるように取り組んでいる。
3	子どもや保護者から安心感満足感をもって利用されている	現状、この自己評価表において安心感や満足感に対して満足いただけているとお声を頂いております。 今後も上記の取り組みをしっかりと行う事でよりよい事業所運営に努めます。	保護者交流会、勉強会など継続実施してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での活動があまり周知されていない (SNSや広報誌での発信は行っているが、地域での交流や避難訓練などの記事の配信が少ないため知られていない)	保護者交流会や勉強会、面談などの場面で弊社事業所のSNSの閲覧や存在について周知できていない。 SNSの閲覧が難しい人に対しては日々の連絡帳も活用して活動内容を知らせることができていない。	各種マニュアルのLINEを活用しての配信を行う。 LINEを利用の連絡などだけに利用するのではなく「〇〇(行事)がありました。詳しい内容は〇〇(SNS)で!」のように保護者の目に留まるように活動内容を周知する。
2	支援終了後の職員間の打合せと振り返りが確実に行われているわけではない。	利用者にとって望ましい時間帯まで営業しているので、終業時間ぎりぎりにすべての業務が終わる傾向にあり、打合せをする時間が取れない。	新年度からは遅くまで利用していた子が卒業し、それまでより早く営業が終わるようになったので、支援終了後の打合せを行う計画を立てている。 またタイミーなどのスポットバイトの人材を活用して掃除の業務をしてもらっている間に行うことも計画している。
3	支援計画に沿った支援内容であるかが分からない	職員間での支援計画の内容や活動内容の共有が不十分	朝礼時、終業時の振り返りなどに加え、援開始前の再度の支援計画内容の確認を行います。 また、スタッフ間でお互いに声をかけあい支援計画を繰り返し見返すように行動する。